

# theme: formal のサンプル

---

サンプルテキスト

氏名  
所属  
会社

2025-11-25

# 本sampleの設定

ヘッダーは以下の通りとし、タイトルページの前段に `<style>` でロゴを指定。

```
---
```

```
marp: true
theme: formal
header: formal-sample-header
footer: formal-sample-footer
paginate: true
---
```

```
<style>
:root {
  /* プrezentファイルからの相対パスで指定 */
  --logo-image: url('./logo.png');
}
</style>
<!-- _class: title -->
# theme: formalのサンプル
## サンプルテキスト
...
```

sample.md を処理して sample.pdf として配置しました。

# 使い方

## Marp for vscodeの設定

- Marpのthemeに追加します。
  - Markdown > Marp: Themes に  
<https://raw.githubusercontent.com/hogehuga/vulnRespStudyGroup/refs/heads/master/marp-themes/formal/formal.css> を追加するだけ

## ファイル配置

- ロゴを置く場合は、対象の .md ファイルと同じ階層にロゴ画像を置いてください。

# スライドの種類 (レイアウト)

状況に合わせて以下のクラスを使い分けてください。

用途	class
タイトルスライド	title
セクション区切り/扉	lead
通常スライド	(指定なし)
反転カラー	invert
本文小さい文字	small

所要時間5分(セクション所要時間など)

脆弱性  
対応  
勉強会  
#vulnstudy

脆弱性対応関連の知見を共有する会です。  
github.com/hogehuga/vulnRespStudyGroup

# [lead]章などの見出し利用

---

leadは、章のタイトルなどを入れて使うものです

- 1: 初めに
- 2: 章などの見出し利用
- 3: このように、章タイトルを入れておくと参加者がわかりやすい
-

# class指定のないコンテンツ

## 概要

## は、このようにスライド内でのまとめに使います。

## 要点1

### は上記 ## のサブカテゴリ的に使う想定です。

# Class: small

`small` は、通常のスライドより文字数が多くなるものに利用します。  
h1-h3等は、通常のスライドと同じ動作をします。

# classの組み合わせ

tlp指定は、smallやinvertと組み合わせることができます。スペースで区切ってください。

但し、small/invert/lead/title の組み合わせは確認していません。

```
---  
<!-- _class: invert tlp-red -->    <==ここのこと  
  
# classの組み合わせ
```

tlp指定は、smallやinvertと組み合わせることができます。スペースで区切ってください。  
但し、small/invert/lead/title の組み合わせは確認していません。

# 以上

---

今後、close用のclassを拡張するかもしれません。